

平成 3 0 年度
飛驒市一般会計予算（補正第 2 号）の概要



9月補正予算（一般会計補正第2号）のポイント

今回の補正では、前年度純繰越金が確定したことに伴い、地方財政法で義務付けられている財政調整基金への積立金として4億5千万円を計上したほか、昨今の全国的な社会情勢を踏まえた諸課題に迅速に対応するため、河合市民プールのブロック塀の撤去や、各小中学校に空調設備を整備するための設計費を計上するなど、総額6億6千8百万円を追加し、補正後の予算額は191億3千1百万円（前年同期＋6.3%）となりました。

歳出の状況

昨今の社会情勢を踏まえた諸課題への対応に加え、7月の集中豪雨で多大な被害を受けた水産業者への支援や、道の駅宙ドームの環境整備、飛騨牛繁殖・研修センターの運営法人に対する出資金の追加など、本年度に入り新たに生じた事由や、調整が整った事業への対応を中心に、現計予算を補完する内容となっています。

■総務費

総務管理費では、ふるさと納税の窓口サイト増設に伴う寄附金の増加見込額に合わせ、返礼品等の諸経費に3千万円、ふるさと創生事業基金への積立金に2千万円を計上しました。

財政管理費では、確定した前年度純繰越金8億8千1百万円のうち、地方財政法で義務付けられた歳計剰余金の処分として、4億5千万円の財政調整基金積立金を計上しました。なお、これにより、財政調整基金は当初予算で取り崩した4億4千万円を積み戻した形となります。

企画費では、映像コンテンツを活用した企画展の開催に3百万円を計上し、ロケツーリズムの取り組みを加速化させるとともに、ひだ宇宙科学館カミオカラボの整備に合わせて行う道の駅宙ドームの玄関や広告塔の整備に1千7百万円を計上し、利用者の安全性・利便性の向上を図るほか、鉄道対策費では、旧神岡鉄道軌道敷に係る河川占有許可が未取得であった県境付近の宮川橋梁、ソンボ谷橋梁について、新たに河川占有許可を取得するための調査費2百万円を計上しました。

■民生費

本年4月に古川町内において新たな障がい児通所支援施設が開設されたことに伴い、放課後等デイサービスの利用者が大幅に増加している現状を踏まえ、今後の増加見込み額を含めて障がい児通所支援費に扶助費1千万円を追加しました。

また、新和光園の建設に伴って新たに必要となる駐車場の確保にあたり、別途社会福祉法人吉城福祉会が整備する駐車場を共同利用する旨の協議が整ったことから、市が利用する応分の負担として、当該整備費用の2分の1を助成することとして5百万円を計上しました。

■農林水産業費

本年7月の集中豪雨により、養殖魚の死滅、流失等の損害を受けた水産業者に対し、卵・稚魚等の導入費用の一部を支援するための助成制

度を新たに設け、所要額 2 百万円を計上しました。

また、畜産業費では、市・飛騨農協・全農岐阜が共同出資して設立する（仮称）飛騨牛繁殖・研修センターの運営法人に関する協議が整ったことから、出資金 1 千 9 百万円を追加計上するとともに、神岡町伏方地内において計画されている飛騨地鶏の処理施設整備に対し、国庫補助事業と協調した助成を行うために 4 百万円を計上し、飛騨地鶏のヒナ生産から成鶏飼育、加工から販売までの一貫生産体制を整え、価格の安定と、県内外への流通拡大を図り、飛騨地鶏のブランド化を推進します。

■商工費

観光費では、かわいスキー場の高圧変電設備の修繕工事に 6 百万円を計上したほか、おんり～湯の非常灯用予備電源の取替え等、老朽化した施設の修繕に充てるための予算に不足を生じていることから、今後の予備的な措置も含め修繕料 4 百万円を計上しました。

■土木費

住宅費では、地震発生時の安全対策や避難経路の確保を目的に、道路沿いの民家のブロック塀等を撤去する際の経費の一部を助成することとして、新たに 2 百万円を計上したほか、民間建築物の耐震診断、補強工事等に充てるための建築物等耐震化促進事業補助金について、想定以上の問い合わせのあることから、2 百万円を増額しました。

■消防費

7 月の集中豪雨時において、河川水位の確認や地域内の巡回に当たる消防団員の安全装備の不足が明らかとなったことから、消防団各部に 5 着ずつ、計 2 5 5 着の救命胴衣を配備するための経費 1 百万円を計上しました。

■教育費

今夏の記録的な暑さを受け、文部科学省において学校の空調設備設置状況の緊急調査が行われるなど、学校の暑さ対策が重視される中、各小中学校への空調設備の整備にあたっては、財政負担の観点から国庫補助事業の採択が前提となることから、次年度以降の事業採択申請に向け、合計 6 百万円の実施設計委託料を計上しました。

また、保健体育費では、安全点検の結果、倒壊の危険性があると判断された河合市民プール附属のブロック塀の撤去費と、その代替となるフェンス柵の設置費 8 百万円を計上しました。なお、同様に倒壊の危険性があると判断された他のブロック塀については、早期の事業着手が可能であったことから、予備費充用により所要額を確保の上、既に撤去に向けた準備に取り掛かっています。

■予備費

上記ブロック塀の解体撤去費や、7 月豪雨への応急対応等に充てるため、既に 3 千 5 百万円を超える予備費充用を行っていることから、予備費現額を補完するため、4 千万円を計上しました。

歳入の状況

確定した前年度純繰越金の予算未計上額を追加するとともに、固定資産税の賦課決定に伴う上振れ分を計上し、歳出予算に合わせて充当財源

となる国県支出金や市債なども調整しました。

■市税

現計予算に対して固定資産税の増収が見込まれることから、家屋に対する課税分として7百万円、償却資産に対する課税分として2千2百万円を追加計上しました。

■国県支出金

国庫支出金は、放課後等デイサービスの利用者増加に伴う国の負担分として、障がい児通所支援給付費に5百万円を追加する一方で、事業費の確定に伴い、スクールバス購入事業に充てたべき地児童生徒援助費等補助金を2百万円減額するなど、全体で3百万円を増額しました。

県支出金については、国庫支出金と同様に障がい児通所支援給付費に3百万円を追加するとともに、みんなの居場所づくり支援事業に対する財源補正として1百万円を追加する一方、事業費の確定分として昨年10月の台風21号によるハウス被害に充てた農業用施設等災害対策事業補助金を2百万円減額し、総額で2百万円を増額しました。

■寄附金

ふるさと納税の窓口サイトに「KDD I W o w m a」を追加することで見込まれる飛騨市がんばれふるさと応援寄附金の増加を中心に、総額5千万円を追加計上しました。

■繰入金

庁用ファイルサーバーの更新費用に充てた公共施設管理基金繰入金について、入札結果に基づく歳出予算の減額にあわせ、1百万円を減額しました。

■繰越金

確定した前年度純繰越金8億8千1百万円のうち、予算未計上であった5億8千1百万円を追加しました。このうち、地方財政法の規定により財政調整基金に積み立てた4億5千万円を除く1億3千1百万円を、本補正予算の事業財源として活用しています。

■諸収入

自動車損害共済金、消防団員安全装備品整備等助成金ほか、総額で4百万円を追加しました。

予 算 総 括 表

(単位:千円)

会計	補正前予算額	(%) 構成比	補正予算額	(%) 構成比	補正後予算額	(%) 増減率	財源内訳			
							国県支出金	地方債	その他	一般財源
01 一般会計	18,462,335	68.82	668,374	76.78	19,130,709	3.62	5,620	△200	52,087	610,867
02 国民健康保険特別会計(事業勘定)	2,607,900	9.72	130,148	14.95	2,738,048	4.99	3			130,145
05 介護保険特別会計(保険勘定)	3,298,700	12.30	60,481	6.95	3,359,181	1.83				60,481
13 情報施設特別会計	94,400	0.35	11,466	1.32	105,866	12.15				11,466
特別会計合計	8,362,800		202,095		8,564,895		3			202,092
合 計	26,825,135		870,469		27,695,604		5,623	△200	52,087	812,959

予 算 総 括 表

会計 一般会計		歳入		(単位:千円)						
款	補正前予算額	(%)	補正予算額	(%)	補正後予算額	(%)	財源内訳			
		構成比		構成比		増減率	国県支出金	地方債	その他	一般財源
01										
市税	3,385,839	18.34	29,000	4.34	3,414,839	0.86				29,000
14										
国庫支出金	1,155,108	6.26	3,405	0.51	1,158,513	0.29	3,385			20
15										
県支出金	1,188,960	6.44	2,235	0.34	1,191,195	0.19	2,235			0
17										
寄附金	312,102	1.69	50,276	7.52	362,378	16.11			50,236	40
18										
繰入金	1,247,463	6.76	△1,300	△0.19	1,246,163	△0.10			△1,300	0
19										
繰越金	300,000	1.62	581,203	86.96	881,203	193.73				581,203
20										
諸収入	472,262	2.56	3,755	0.56	476,017	0.80			3,151	604
21										
市債	2,139,200	11.59	△200	△0.03	2,139,000	△0.01		△200		0
合 計	18,462,335		668,374		19,130,709		5,620	△200	52,087	610,867

予 算 総 括 表

会計 一般会計

歳出

(単位:千円)

款	補正前予算額	(%)	補正予算額	(%)	補正後予算額	増減率	財源内訳			
		構成比		構成比			国県支出金	地方債	その他	一般財源
02 総務費	2,358,004	12.77	530,554	79.38	2,888,558	22.50			50,950	479,604
03 民生費	4,738,930	25.67	42,870	6.41	4,781,800	0.90	8,395			34,475
04 衛生費	1,388,685	7.52	1,008	0.15	1,389,693	0.07	57		308	643
06 農林水産業費	1,311,018	7.10	22,527	3.37	1,333,545	1.72	△1,962			24,489
07 商工費	1,020,496	5.53	11,311	1.69	1,031,807	1.11	△500		△1,000	12,811
08 土木費	2,477,527	13.42	5,028	0.75	2,482,555	0.20	1,080			3,948
09 消防費	705,339	3.82	1,847	0.28	707,186	0.26			1,659	188
10 教育費	1,148,252	6.22	12,964	1.94	1,161,216	1.13	△1,450	△200	170	14,444
12 予備費	50,000	0.27	40,265	6.03	90,265	80.53				40,265
合 計	18,462,335		668,374		19,130,709		5,620	△200	52,087	610,867